



よびかけ No. 9



校長通信『チームHSD』

全国学力・学習状況調査の結果分析から

東塩田小学校長 川口伸哉

今年度4月に実施された全国学力学習状況調査(6年)の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

【国語】

1 結果の概要

- 「話し言葉と書き言葉との違い」問題の正答率が高く、成果が見られました。
- ▲「登場人物の行動や気持ちなどについて叙述をもとにとらえる」「登場人物の相互関係について、描写をもとにとらえる」「作品における表現の効果を考える」問題の正答率が低く、課題が見られました。



調査時の様子(2組)

2 考察及び今後の指導

国語は、全体的な傾向として課題が多く見られる結果となりました。特に、文学的な文章における登場人物の気持ちや関係性をとらえること、また、場面の情景を想像することに困難が見られました。今後の指導として登場人物の行動や会話、様子などを表している叙述に着目させ、それらをもとに登場人物の性格や考え方を総合的に判断させる場面を授業の中に位置付け、課題の克服に努めていきます。

【算数】

1 結果の概要

- 「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる」問題の正答率が高く、成果が見られました。
- ▲「百分率で表された割合を分数で表すことができる」「百分率で表された割合と基準量から比較量を求めることができる」「数量が変わっても割合は変わらないことを理解している」問題の正答率が低く、課題が見られました。

2 考察及び今後の指導

算数は、ほぼ全国レベルの結果を得ることができましたが、二つの数量の関係や割合の表し方に課題が見られました。特に百分率(パーセント)について課題が見られたので、今後の指導として、百分率(パーセント)の意味を再度理解させるとともに、日常生活と結び付けて便利な表し方であることを実感させたいと考えます。また、図を用いて数量関係を視覚化したり、場合によっては電卓等を用いて処理できるようにしていきます。

【理科】

1 結果の概要

- 「情報をもとに問題に対するまとめ方を検討して改善し、自分の考えを持ちその内容を記述できる」「実験で得た結果を問題の視点で分析して解釈し、自分の考えを持ちその内容を記述できる」「結果を見通して問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことができる」等々、ほとんどの問題の正答率が高く、大きな成果が見られました。

2 考察及び今後の指導

理科は、全国レベル以上の結果を得ることができました。授業では、児童の体験を重視した学習に力を入れて取り組んできたので、そうした体験重視の授業内容が結果につながっているものと考えます。今後も実験や観察の時間、そして自分でまとめふりかえる時間を十分に確保し、学力の向上を図ります。

【児童質問紙から見えてきたこと】

- 早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣が身についている
- 学校に行くのが楽しいと多くの子が感じている
- 地域の行事に積極的に参加している子がほとんど（全国平均の3倍の割合）
- 学校での学習が社会に出てから役に立つと思っている子がほとんど
- ▲家で計画を立てて学習している子が少ない
- ▲読書が好きと答えた子が全国平均の半分の割合
- ▲ICT機器を利活用している子が少ない



今後の主な予定

- 9 / 15 (木) 5・6年わくわく芸術体験
学年費口座振替日
- 16 (金) 4年禁煙教育
- 17 (土) 土曜参観日（新型コロナ感染拡大状況によって参観は中止の場合あり）
- 19 (月) 敬老の日
- 20 (火) 土曜参観振替休業日
- 21 (水) 全校交通安全教室
- 23 (金) 秋分の日
- 26 (月) 秋の交通安全指導～30日
- 28 (水) 給食費口座振替日
- 29 (木) 1年生校外学習（遠足）
- 10 / 3 (月) 3年社会科見学
こんぺいとうの会（新型コロナ感染拡大状況によって中止の場合あり）
- 4 (火) 2年校外学習（遠足）
- 5 (水) 松茸給食

